

建築研究所 ニュース



平成21年11月11日

「建築物の長期使用に関するシンポジウム」－材料・部材の耐久性と維持保全－
の開催について (専門紙記者懇談会資料)

平成21年11月11日に国土交通省で開催しました、「建築研究所 第3回専門紙記者懇談会」の配付資料をご案内します。

(内容の問い合わせ先)

独立行政法人 建築研究所
所属 総務部総務課
氏名 大高 茂則
電話 029-879-0605(直通)
E-mail ootaka@kenken.go.jp

**「建築物の長期使用に関するシンポジウム」－材料・部材の耐久性と維持保全－
の開催について**

○シンポジウムの目的

持続可能な社会の実現のための地球規模的課題の一つは、「低炭素社会の実現」です。そのために、「建築物を長期にわたり良好な状態で使用する（建築物の長期使用）」ことを実現するための具体的方策を提案することは、建設分野に与えられた大きな命題です。

「建築物の長期使用」を実現するためには、材料や構造物自体の耐久性の確保・向上は特に重要であり、必要不可欠です。同時に、使用される材料・部材の耐久計画に基づき、適切な維持保全が実施され、耐久性の維持が図られるとともに、建物の生産や維持保全に関する情報を必要なときに活用できる環境を整備する必要があります。

本シンポジウムでは、各種建築材料・部材の耐久性・維持保全に関する第一線の研究者をお迎えし、「建築物の長期使用」に必要な研究課題等について、講演とパネルディスカッションを行います。

入場料は無料、事前登録は不要、参加者には聴講資料を、当日配布予定です。建築・都市の専門技術者はもちろん、建築に興味のある一般の方々からの多数のご来場をお待ちしております。

日 時 平成 22 年 3 月までに開催を予定

会 場 未定

主 催 (独)建築研究所

入場料 無料(事前登録は不要です。当日、聴講資料を配付予定です。)

○シンポジウムの内容

最初に、建築研究所が実施した建設省総合技術開発プロジェクト「建築物の耐久性向上技術の開発（1980～1984）」に代表される建築材料・部材に関する成果のレビューと、建築物の長期使用の観点からの課題について、当時の主たる研究担当者の方々から概説をいただきます。次に、現在、建築研究所で実施している建築材料・部材の耐久性や維持保全に関する研究、ならびに耐久性や維持保全に関する様々な情報の活用技術に関する研究について、紹介いたします。

最後に、建築物の長期使用のために必要な材料・部材の品質確保・維持保全技術について、パネルディスカッションによる討論を行います。

※ 現在、日時・会場ならびにプログラムについては未定ですが、決定次第、ポスター、チラシ、ホームページ等で、改めてご案内いたします。また、上述の内容については、変更する場合がありますので、予めご了承下さい。

問い合わせ先

材料研究グループ長 長谷川直司

電話 029-864-6622

e-mail hasegawa@kenken.go.jp